

地域社会との緊密な連携を築こう

～PTAと地域が連携・協働しながら、児童の主体的な活動を支える～

安城市立安城西部小学校PTA

1 学区及び学校の概要

本校は、創立115年を迎える歴史ある学校で、保護者や地域の方に卒業生が多くいる。学区は、福釜町と赤松町の2町からなり、現在、535名の児童が通学している。学区内には、長田川と半場川が流れ、水田や安城の名産であるチンゲンサイ畑が多くある。また、花とみどりのテーマパーク「安城産業文化公園デンパーク」があり、さまざまな地域から来訪者がある。

2 研究のねらい

本校では、「学校が好き 学級が好き 自分が好き」な児童の育成を目指している。そこで、PTA活動として地域の教育力を活用するなど、家庭や地域と協働しながら教育活動の充実を図っている。

3 研究の仮設

PTAと地域が連携・協働し、さまざまな人との交流や地域と関わりのある行事などを取り入れていけば、よりよい自分の実現に主体的に向かう児童の育成の一助となるであろう。

4 研究の方法

PTAが関わりながら、家庭や地域と連携・協働して行う行事や研修などを考え、年間計画に位置付け、実施する。

5 研究の実践

(1) 児童会と関連した活動

ア PTAあいさつ運動

児童会スローガン「あいさつで学校も地域も笑顔にしよう」のもと、年間8回、登校時間帯に合わせてPTAあいさつ運動を行っている。また、地域でのあいさつが活性化するように、青少年健全育成会の取り組みとして募集している標語をのぼり旗にして校地周辺に設置している。

イ ペットボトル・アルミ缶回収

児童委員会活動に協力しながら、年間6回、ペットボトル・アルミ缶回収を行っている。リサイクル活動だけではなく、児童がSDGsに取り組む意識を向上させることにもつながっている。

(2) 児童への啓発活動

ア 親子ふれあいウォークラリー

今年度、親子で一緒に学区を歩き、普段とは違った時間を親子で共有できるよう、ウォークラリーを計画している。地元でありながらも、普段の暮らしの中で見過ごしてしまいそうな場所（記念碑、史跡など）を訪れ、その魅力にふれることで、地元を愛する心を育んでいきたいと考えている。

イ 交通安全教室

1, 3年生を対象に、交通安全に対する意識の高揚を図るため、交通安全教室を実施している。PTAの協力のもと、交通指導員、地域の駐在所の警察官、登下校の見守りボランティアに参加していただき、運動場内に信号機や横断歩道などを設置し、横断歩道の歩行の仕方（1年）や、自転車の正しい乗り方（3年）を指導している。自転車は、保護者の協力を得て貸していただいている。



ウ スマホ・ケータイ教室

PTA役員の運営により 4～6年児童を対象に、スマホ・ケータイ教室を実施している。専門家の話を聞くことで、正しいスマートフォン・携帯電話の使い方を知り、ライン等SNSのトラブルを未然に防ぐことなどを目的にしている。また、希望する保護者にも参加いただき、啓発に努めている。



(3) 保護者への啓発活動

ア 学校保健委員会での研修

今年度、学校保健委員会の取り組みとして、不登校について考える場をもった。そこで、PTAの協力のもと、市のスクールソーシャルワーカーを講師に招き、校内職員だけではなく、希望する保護者にも参加いただきながら、不登校の現状や適切な支援の在り方について考える機会を設けた。

イ 安城市小中学ふれあいネット事業を活用しての研修

安城市では、児童生徒の健全育成の推進のため、ふれあいネット事業に取り組んでいる。例年、PTAや地域の方と児童が、学校内の諸問題を話し合う会議を開催している。今年度はさらに、LGBT+研修会を実施し、PTAや希望する保護者に参加していただく予定である。

(4) その他の活動

町内会と連携・協働した活動として、年間3回、資源回収を実施している。また、PTAが中心となり、夏休み期間を利用してラジオ体操を実施している。

6 研究の考察

PTAと地域が連携・協働することで、学校の中だけでは行うことができないような行事や人との関わりをもつことができ、児童の主体的な活動につながったと考える。また、研修等を通して、保護者に関われた学校とすることにもつながった。

7 成果と今後の課題

7月、保護者に行った学校評価では、「学校ではPTA活動が活発で充実している」と回答いただいた割合は75%であった。今後も、家庭や地域が参加しやすく、直接、子どもたちの健全なる成長に関わることができるようなPTA活動を考え、推進していきたい。